

夕やけ雲 (1956)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1956/04/17

【解説】

木下恵介が監督した青春映画。オリジナル脚本は木下の実妹である楠田芳子が、音楽は木下の実弟である木下忠司が担当。久我美子がブルーリボン賞助演女優賞を受賞した。

下町の魚屋の長男である秋本洋一は、魚屋ではなく船乗りになりたいと思っていた。親戚からももらった双眼鏡で遠くを見るのが日課だった。しかし父の源吉が心臓病で倒れてしまい、洋一は魚屋を継ぐことにする。洋一は双眼鏡で見かける少女を一目見ようと、友人とその家を探し当てた。しかしその少女は、病気の身でありながら、これから嫁ぎに行くところだった。洋一の姉の豊子は五十歳で金持ちの男の後妻となるが、前に付き合っていた若い男と箱根旅行へ出かけていた。豊子の夫からの電話を受けた源吉は、その場で倒れ亡くなってしまう。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 久保光三

脚本 楠田芳子

撮影 楠田浩之

美術 平高主計

音楽 木下忠司

出演 久我美子

田村高広

田中晋二

東野英治郎

望月優子